

I D					外来・入院(号)
氏 名					性 別
生年 月日	年	月	日	(歳)	

化学療法指示書 (ビダーザ皮下投与)
1クール28日 骨髄異形成症候群

第() クール			
主治医		CCr	ml/min
身 長	cm	腎機能	正常／異常
体 重	kg	肝機能	正常／異常
体表面積	m ²		

※通常、成人にはアザシチジンとして 75mg/m²(体表面積)
ビダーザ投与量(75mg/m²) = ()mg

		98	無菌(悪性腫瘍剤)		サイン	
		33	外来化学療法加算		P r	D r
				N s	医事	
年 月 日 day1に処方(d a y 1～7服用) 外来時は、処置で対応						
処方箋にて入力						
内服処方	カイトリル 1mg 2T 1×(7) 投与30分前					
年 月 日 (d a y 1)						
[:]	ビダーザ注射用 100mg () 瓶 ※1Vあたり4mLで溶解 注射用水 20mL 1本 () mLを皮下注射					
年 月 日 (d a y 2)						
[:]	ビダーザ注射用 100mg () 瓶 ※1Vあたり4mLで溶解 注射用水 20mL 1本 () mLを皮下注射					
年 月 日 (d a y 3)						
[:]	ビダーザ注射用 100mg () 瓶 ※1Vあたり4mLで溶解 注射用水 20mL 1本 () mLを皮下注射					
年 月 日 (d a y 4)						
[:]	ビダーザ注射用 100mg () 瓶 ※1Vあたり4mLで溶解 注射用水 20mL 1本 () mLを皮下注射					
年 月 日 (d a y 5)						
[:]	ビダーザ注射用 100mg () 瓶 ※1Vあたり4mLで溶解 注射用水 20mL 1本 () mLを皮下注射					
年 月 日 (d a y 6)						
[:]	ビダーザ注射用 100mg () 瓶 ※1Vあたり4mLで溶解 注射用水 20mL 1本 () mLを皮下注射					
年 月 日 (d a y 7)						
[:]	ビダーザ注射用 100mg () 瓶 ※1Vあたり4mLで溶解 注射用水 20mL 1本 () mLを皮下注射					
年 月 日 (d a y 8～28) 休薬						

※調製から30分以内に投与を終了させること(安定性低下)
※溶解方法は裏面参照
※2バイアルを超える場合は、2つのシリンジで2か所に皮下注射

	検査データ	バイタル	副作用チェック	看護記録
月 日 (day1)		前 中 後	寒気 発熱 痒み 吐き気 血圧変動 倦怠感	サイン
	検査データ	バイタル	副作用チェック	看護記録
月 日 (day2)		前 中 後	寒気 発熱 痒み 吐き気 血圧変動 倦怠感	サイン
	検査データ	バイタル	副作用チェック	看護記録
月 日 (day3)		前 中 後	寒気 発熱 痒み 吐き気 血圧変動 倦怠感	サイン
	検査データ	バイタル	副作用チェック	看護記録
月 日 (day4)		前 中 後	寒気 発熱 痒み 吐き気 血圧変動 倦怠感	サイン
	検査データ	バイタル	副作用チェック	看護記録
月 日 (day5)		前 中 後	寒気 発熱 痒み 吐き気 血圧変動 倦怠感	サイン
	検査データ	バイタル	副作用チェック	看護記録
月 日 (day6)		前 中 後	寒気 発熱 痒み 吐き気 血圧変動 倦怠感	サイン
	検査データ	バイタル	副作用チェック	看護記録
月 日 (day7)		前 中 後	寒気 発熱 痒み 吐き気 血圧変動 倦怠感	サイン

休薬・減量基準（詳細はビダーザ注射用100mg適正使用ガイドを参照すること）

○グレード3以上の非血液毒性

○当該サイクルの最低値が好中球数 $<1000/\text{mm}^3$ または血小板数 $<50000/\text{mm}^3$

○治療開始前値が白血球数 $<3000/\text{mm}^3$ 、好中球数 $<1500/\text{mm}^3$ または血小板数 $<75000/\text{mm}^3$

○白血球数、好中球数または血小板数のいずれかが治療開始前値の50%以下に減少

○血清重炭酸塩 $<20\text{mEq/L}$

○BUNまたは血清クレアチニンが施設基準値上限を超えかつ治療開始前値の2倍以上になった場合

* 投与量に関して、日本新薬ホームページ ビダーザ投与量自動判定ツールを参考にすること

主な副作用 ※適正使用ガイド参照

○骨髄抑制(好中球減少、血小板減少、貧血)

○感染症

○出血

○低血圧

○肺障害

○心機能障害

○アナフィラキシー様症状

○肝機能障害

○腎機能障害

調整および投与時の注意事項

○1バイアルにつき注射用水4mLを注入し、バイアルを激しく振り混ぜて均一に懸濁する。

○投与直前に注射用シリンジ内の懸濁液を、両手のひらに挟んで激しく転がして(ローリングして)均一に懸濁させる。